

国会事故調の基本的姿勢

黒川 清

1. 「国民」の、国民による、国民のための委員会
2. 「未来」を志向する、歴史的背景を調査する
3. 「世界」と共有する事故の原因

そのために

透明性、公開、英語でも発信する

グローバル世界で民主主義の日本国政府の責任は

国会事故調の中心的メッセージ

Regulatory Capture
規制のとりこ

Groupthink 集団浅慮
(vs Critical Thinking クリテイカル・シンキング)

NAS 2013

GAO USA 2014

IAEA 2014

NAS USA 2014

いろいろな事例、私への問いかけ

--Vattenfall, Norway, Swiss, 英米仏ほか

ほか多くの世界の識者から

日本人の常識・マインドセット

グループシンク集団浅慮
透明性/世界と共有する気持ち
アカウントビリティ
異論・違う意見を言う義務

日本の常識・マインドセット

エリートについて

- 三菱銀行の行員は住友銀行へ移るか
- 日立のエンジニアは東芝に移るか
- X X 省キャリアは〇〇省に移るか

◆ 日本のグローバル世界での責任

- ◆ 活発で「オープン」な国際社会との交流、意見交換、共同作業など。
 - 失敗から学ぶ、前向きな姿勢、態度が弱い
 - 福島第一原発・デコミッションへの共同作業
 - 汚染水の処理問題
 - 新しい原子力安全委員会
 - そのほかもろもろ関連事項
- ◆ 福島原発事故から何を学ぶのか、世界と共有する姿勢、透明性など